



蒲田交信局



いつもお世話になっております。営業部の浅井利晃と申します。主に印刷屋さんの担当をさせていただいております。いよいよ私の順番になりました。(笑)

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私の自己紹介をさせていただきます。

私は1976年(昭和51年)8月3日生まれ、獅子座のAB型。(笑)このかわら版の青沼の記事にも書かれていましたが、社内ではAB型が多く、かつ何かと「変わり者」扱いされがちです。否定できない部分も多々ありますが…。(泣)

埼玉県久喜市在住。小学生の頃から高校までは埼玉におりましたので、地元なのですが、その代わり通勤は約2時間かかります。そのため朝起きるのは4時半位ですが、冬は蒲団から出るのが辛いですね。ただ、最近では5時になるとうっすらと明るくなってきて、春を感じられます。

家族は愛妻、愛娘1人の3人家族です。娘は2歳で、最近はお餅が大好きで、休日になると何回もお餅マンゴっこをさせられます。もっぱら私がバイキンマン役で、娘のお餅パンチに何度も倒れております。たまにはお餅マンもやってみたいです(笑)。

趣味はプロ野球観戦。埼玉県出身ということもあり、小学生の頃から30年間西武ファンです。最近ではプロ野球もテレビ放映はほとんどされなくなり寂しい限りです。それでも球場に行ってみると、若いファンや女性のファンが多く、うれしくもなったりします。

さて今回の蒲田交信局、困ったことは「浅野」と同じになってしまっていることです。「浅野」「浅井」…。混同されないようご注意ください。実を言いますと、社内でも呼び間違えられる事が多く、疲れていると自分でも間違えてしまうので要注意です!!(笑)

それでは次回以降も、様々な話題を皆様にご報告したいと思っております。今後共よろしくお願い致します。



蒲田交信局



2ヶ月続けての登場となりました、浅野 和也です。今回は浅井が書いているように、紛らわしい名前の2人が同じ回になってしまいました。「浅野」「浅井」、実はもう一人苗字に「あさ」がつく者が社内にはおります。社内で「あさ〇〇〜！」と呼ばれると、なんでも振り返ってしまいます。これも一種の職業病でしょうか!?

今回のテーマは「家族との思いで」ですが、兄弟の事を書きたいとします。私自身4人兄弟の末っ子で、一番上とは14才年の差が有ります。その次は10才差、一番近くても7才の年の差です。なので小さい頃には一緒に遊んだというより、遊んでもらってた、と言う方が近いかもしれません。

一番面倒を見てくれたのは、やはり10才違いの姉だと思います。遊びにつれていくのも、休みの日に昼ご飯を作っていたのも姉でした。小学生の頃、初めて喫茶店に入ったのも姉と一緒にでした。当時、商店街に喫茶店が有り、ドキドキしてたのを思い出します。今の「カフェ」とは違い、「喫茶店」に入ると言うのが大人になる証だったような気がします。

一番近い兄には小学生の頃、自転車によく弁当を買いに行かされていました。(泣) 弁当の中身のカレーがこぼれている、と言われたのを憶えています。小さい頃から本を読むのが大好きな兄で、どこへ行くにも本を持ち歩いていました。先日会った時に「これ買ったんだ」と見せてくれたのが、電子書籍用のタブレットでした。昔はあちこちに本が散乱していたのが懐かしいです。

現在は全員実家を出てしまっているのですが、顔を合わすのはお正月位でしょうか。

今年のお正月も、兄弟全員はもちろんの事、姪や甥、その子供、孫やら何やらが揃いました。ちょっとした大家族です。まだまだ両親も健在で、孫の相手をしては喜んでいます。最近我が家の娘たちはトランプゲームにはまっていて(「七並べ」や、「神経衰弱」)、その相手に引っ張り出されていました。

大きくなってから、「家族が多いっていいな〜」と思うようになりました。我が家の娘たちも、そう思う日が来ることを望んでいます。